

18-1

グローバル・スタディーズ 授業事例

1	公開授業実施日時	2018年11月20日（火）2校時9時45分～10時30分
2	場所	京都教育大学附属桃山小学校 2年2組教室
3	対象	2年2組 34名
4	授業者	平岡 信之
5	島名	プレ・グローバル
6	単元名	主題名「小さな いのち」 資料名「虫が大すきーアンリ・フェアブル」
7	関連する教科・領域	道徳科
8	単元の目標・ねらい	真理を追究しようという探究心が大切であることに気づく。自然を愛し、動植物をいつくしむ心が美しく思える。過去の偉人の行動について考えることを通して時代を超えた先人との対話を楽しむ。
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	違う民族で言葉や生活習慣が違って、真理を追究しようという探究心が大切であることが共通していることに気づく。自然を愛し、動植物をいつくしむ心が美しく思えることは共通の価値であることに気づく。過去の偉人の行動について考えることを通して時代を超えた先人との対話を楽しむ。
10	単元の評価規準【教科・領域として】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳的理解・判断力（考える） フェアブルが何を考えどう行動したのかを理解し、自分の生活や生き方に取り入れたいものについて考える。 ・ 道徳的な心情（感じる） フェアブルの探求心や昆虫に対する愛情に共感し、動植物に優しい心で接しようとする。 ・ 道徳的実践意欲と態度（行動する） 身の回りにある疑問を調べて解決しようとするとともに、自然を大切にす る行動に出ようとする。
11	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	違う民族で言葉や生活習慣が違って、真理を追究しようという探究心が大切であることが共通していることに気づく。自然を愛し、動植物をいつくしむ心が美しく思えることは共通の価値であることに気づく。過去の偉人の行動について考えることを通して時代を超えた先人との対話を楽しむ。
12	単元計画	道徳は1時間完結で指導を行うため単元計画はないのが常だが、本プロジェクトではグローバル・スタディとして取り組んだため1. タヒチからの友だち、2. ハンナのなみだ、3. 虫が大すきアンリ・フェアブルの3時間を一単元として考え、連続して授業を実施した。
13	本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンリ・フェアブルの昆虫への思いについて考えることを通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。 ・ アンリ・フェアブルの考えや行動から自分の生活に生かしたいことを探る。
14	本時の展開	≪別紙指導案を参照≫
15	グローバル・スタディーズとしての特徴	外国の人物の行動や人柄に学ぶことで、民族や時代を超えた共通の価値があることに気づく。
16	授業者から一言	初めて道徳科で取り扱う人物教材であった。先人が何を考えどう行動したかを知り、自分の生活に活かそうとする学習の出発点に立てたと考える。読書の時間にフェアブル昆虫記や伝記を読む児童が増えたことが喜ばしい。

1. 対象 第2学年2組 34名
2. 日時 平成30年11月20日(火) 第2校時 9:45~10:30
3. 場所 第2学年2組教室
4. 内容項目 D 自然愛護
5. 主題 小さないのち
6. 資料名 「虫が大すきーアンリ・ファーブル」
7. 目標

- ・アンリ・ファーブルの昆虫への思いについて考えることを通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。
- ・アンリ・ファーブルの考えや行動から自分の生活に生かしたいことを探る。

道徳的理解・判断力（考える）	道徳的な心情（感じる）	道徳的実践意欲と態度（行動する）
ファーブルが何を考えどう行動したのかを理解し、自分の生活や生き方に取り入れたいものについて考える。	ファーブルの探求心や昆虫に対する愛情に共感し、動植物に優しい心で接しようとする。	身の回りにある疑問を調べて解決しようとするとともに、自然を大切にする行動に出ようとする。

7. 単元について

(1) 児童観

①日常生活の姿（自然とのかかわりも含めて）

元気で楽しい雰囲気を持った学級である。休み時間には多くの児童が運動場や校庭で活動的に過ごしている。また、雨の日にはけん玉や折り紙など文化的な遊びを楽しんだり、鍵盤ハーモニカを練習している姿もみられる。しかし、楽しいこととくずれていることの区別がつきにくい児童も数名見られ、くずれた雰囲気がなかなか元にもどらない時もある。

スピーチ活動で自然と関わって体験したことを話題にする児童は多く、特に夏休みの報告会では旅行やキャンプで自然と触れ合った経験が多く語られた。寄せられた作品や研究にも昆虫や風景を描いた絵、植物や昆虫に関する研究もみられた。日常のスピーチ活動で昆虫を取り上げる児童も数名いて、自宅で飼育しているカブトムシやオオクワガタ、ニジイロクワガタ、ヘラクレスオオカブトムシについても報告された。ただ、これらの昆虫はすべてペットショップで購入されたものや頂いたものであり、自分が採集したものではなかった。エサも昆虫ゼリーが主であり自然とのかかわりという点ではかつてとは質が違うが上手に飼育したいという思いはある。

生活科の学習では春の自然を観察したり、ミニトマトの栽培をしたりした。ミニトマトの栽培記録では成長の様子だけでなく、大きく育ててほしいという願いや思いも記録されていた。秋の遠足では、京都府植物園に行き、秋の植物の様子を観察した。また、温室では世界の植物の姿に触れその多様性を感じることができた。

②道徳の授業の中での姿

校歌への思いを考える授業では、校歌の良い所を見つけることができた。ただ、校歌が好きという点で意見が一致したため、考え議論する学習にはなりずらかった。借りた傘の返し方を問う「かさが返ってきたよ」の授業では、明確な答えがなくどれを選択してもよいので理由を示して自由にそして穏やかな雰囲気でも話し合うことができた。「異なる意見にはそれを支える根拠」があることを知り、自分とは違う考え方も認め合うことが

できた。「祇園祭」の授業では、練習がいやでたまらなかつた主人公が、祭りの本番で思わず一観客として他の人と同じように歓声をあげたり拍手する自分に気づいたことに着目した。変容していく姿に共感する子が多くみられた。あんなに嫌だった練習に積極的に取り組んだり、耳を貸そうとしなかつた父の話を肯定的に捉えようとする姿から「人は変わる。」ということに気づいたようである。

グローバルに関する教材は教科書に3点載っている。そのうちの2点についての学習の概要を紹介する。「タヒチからの友達」の学習では、言葉の通じない友達との交流を肯定的に捉え、外国の人と仲良くすることに前向きな意見が多く出された。M君1人が意義を唱えた。「言葉が全く通じないのは怖くて不安だ。ニュースでも外国の人が多くの事件を起こしている。ほくは外国の人と仲良くしたくはない。」という主張をした。この意見の影響力は大きく6人の児童が仲良くしない方が良いに意見を変えた。続けて行った「ハンナのなみだ」の学習では、多くの児童がよしことハンナが悲しそうな表情をしている挿絵を見て「二人とも仲良くしたいのに言葉が通じなくて困っている。」考えたのに対してM君は「二人とも早くお別れしたいのに2週間も一緒に過ごさなければいけないので困っている。」という自論を主張した。よしこのお母さんの「身振り手振りと言葉で思いは伝わる。」という助言を受けて、4、5人の児童が自身の経験を踏まえて外国の人と仲良くすることの大切さと仲良くしたいという思いを述べた。最終的意思決定でMくんは「不安な気持ちに変わりはないがよくないことはめったにおこらないのかもしれない。」と否定的な意見のレベルを一段階落として学習は終わった。

③人物に対する認識

今回使用する資料は、小学校の道徳で初めて人物を取り扱う教材である。人物に対してどのような認識を持っているのか、知っている外国の有名人と目標にしたいと思っている人物について調べてみた。(複数回答可) どちらの設問もそのような人はいないと回答した子が多く学級の半数近くを占めた。何をした人かを知っていても、どのような人なのかを知っている事例は少なかった。(人柄、エピソード、何を考えどう行動したのかなど) 現段階では人物の姿に何かを学んだりしていることは少ないと考えられる。また、図書室での読書の様子を見ていても伝記を読んでいる子は見かけたことはない。

アンケートの結果

ア) 知っている外国の人

・マイケルジャクソン6人・ベートーベン4人・トランプ大統領4人・エジソン3人・ピカソ2人

(歴史上の人物ナポレオン・音楽家ブルグミュラー・現役のスポーツ選手ウサインボルト、メッシ、メッシンジャー、エルドレット、・実業家ビルゲイツ・芸人厚切りジェイソン各1人)

・知っている人が思い浮かばない15人

イ) 目標にしたい人物

・外国人：エジソン2人・ウサインボルト2人(ベートーベン、ピカソ、マイケルジャクソン各1人)

・日本人：乾選手(サッカー)3人・星野源2人・大谷翔平2人(聖徳太子、本田望結、錦織圭、大坂なおみ、山川選手、根尾選手(野球)ほに選手(剣道)佐藤選手(BMX)水上さん(東大クイズ)大野智各一人)

・身近な人：母2人(父、姉、クラスメイトのOさん各一人)

・目標にしたい人が思い浮かばない14人

④育ってきたものと育てたいもの

みんな考え、話し合っ、高め合うという点では成長してきているものの課題が多く残されている。良い考え方や行動が進歩し成長するのと同じようにずるい考え方や行動も巧妙になりつつある。よくないことだけど楽な方を選んだり、失敗や不都合を隠そうとする姿も時折見られるようになってきた。失敗から学び、同じ不都合を繰り返さないようにするための工夫と努力が少しずつではあるができるようになりつつある。今回の学習を通して人物の生き方に学び、自分の人生を豊かにするヒントを探ることの大切さを知るスタートライン立ってほしいと願っている。

(2) 教材観

①ねらいとする価値

本単元では、D「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の「自然愛護：身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てること」を扱う。

人は自然に親しみ、調和を図ることを大切にしながら生きてきた。しかし、時には人の都合に合わせてその姿を変えたり、自然を傷つけたりしてきた。そして自然から手痛いしっぺ返しを受けることもあった。人は自然との良好なかかわりの中でこそ豊かに生きることができる。だからこそ、自然に親しみ、自然を大切にし、優しい心を持って自然に接することが必要となる。

現代社会に生きる子どもは、以前とは異なり自然に接する機会は減少し、自然に接する体験は不足している。外に出なくても楽しいものは多くあり、自然との関りもバーチャルの世界で体験したような気分になってしまうことも多い、豊かな自然の中で景色を楽しんだり、植物や昆虫を観察したり採集したりする活動は豊かな情操を営む上で欠かせない。学校教育においてに自然と触れ合う体験の場を確保し、経験を踏まえて身近な自然に親しみ、自然や動植物に優しい心で接しようとする心情を育むことが大切である。

②資料について

本資料はフランスの生物学者アンリ・ファーブルの少年時代や大人になってからの様子を描いたものである。ファーブルは幼いころから昆虫に強い興味を示し、積極的に、そして愛着を持って接してきた。それは大人になってからも変わることはなく、旺盛な探求心を持って研究に取り組み、その成果を「昆虫記」という書物にまとめた。低学年向けに書かれた資料なので具体的な記述は少ないが、発言や行動や少ないがゆえに論点も絞り込みやすいともいえる。ファーブルがどんな思いで昆虫のことを調べ続けたのかを考えることを通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することの大切さや疑問を解消し、真実を突き止めるために調べ続けることの大切さを知ることができる。また、ファーブルの生き方から今後自分が自然に対してどのように接していくのかも模索することができると思われる。

教科書に掲載されている本資料の出典は、「わたしたちの道徳 小学校1・2年」文部科学省である。

③教材としてのファーブルとファーブル昆虫記について

ファーブルは92歳（書物によっては91歳という記述もある）まで生きた長寿の生物学者であるが、その生涯は経済的には恵まれていたとはいえ、不遇の時代を過ごしたこともある。子宝に恵まれながら幾人かのわが子に先立たれるという不幸も経験している。そのような中であっても自然や昆虫にたいする愛着と探求心を失わず、抱いた疑問を仮説を立て、粘り強い継続的な観察や実験を通して検証してきた。それをまとめた「昆虫記」の学術書としての価値は高く、今も愛読されている。図書室や学年文庫にも蔵書数は多く、図書室では、科学読み物と伝記の書棚の両方に見られるほか、「私は日本のファーブルだ」などファーブルの生き方に影響を受けた人物の著書もみられた。指導者として人物の一生やその業績、著者についてはできる限り触れておきたい。ポプラ社の「心を育てる偉人のお話し1」では「美しい心を持つ」のカテゴリーの中でファーブルを取り上げている。業績として評価されている「昆虫記」を生んだものはファーブルの自然への愛情だったと紹介している。

④道徳科における人物の取り扱いについて

生き方を学ぶ。何を考え、どう行動したのかを探る。価値項目やねらいと照らし合わせて自分も「よりよく生きたい。」と自己をみつめることができるよう支援したい。はなから「この人は立派だね。」と指導者の価値観判断を示さず、子どもが考える場面、話し合う場面を設定したい。個人の業績が優れていても生き方に弱点を抱えていたり、違う生き方を選択したい場合もある。生き方を学ぶことは自分の価値判断と比較することで深まる。人を見る目を育てることは大切だが、その見方は多様であってよいと考える。

たぐいまれなるセンスや能力を持ったことを取り扱うのではなく、努力や工夫、くじけない心などが才能

を開花させたことに着目する。そしてその才能はだれもが持ち合わせていることを知らせることをねらいとする。自分が幸せになる事だけでなく、自分がしたことの内容や何を考えどう行動したかが後に続く人に要影響を与えたかに着目したい。あこがれを持ち、目標にするということはその人の生き方に学び、その人に並びそして超えようとすることに価値を見出す人になってほしいという願いを込めている。

(3) 指導観

本教材の導入では、スライド資料を用いて昆虫に関するクイズを行う。アンリ・ファールブルについて知らせた直後に人物について知りたいこと、調べてみたいこと、話し合いたい事について問いかけ、子どもの興味・関心の傾向を探りたい。そのことでアンリ・ファールブルについての二つのエピソードのどちらを重点的に取り扱うかを考えたい。

発言に慎重な児童の思考の可視化のために意思表示3色カードや個人用ホワイトボードを使用する方法を取り入れる。全体の傾向や自分の意見が多数派なのか少数派なのか。自分の立ち位置も客観的にみることができる。

また、アンリ・ファールブルの生き方を自分の生き方に取り入れるか同課の価値判断・意思決定については個人プレートをメインボードに掲示する方法をとりいれたい。それぞれの立場で意見交流を行い、友達の意見を参考に価値判断と意思決定を再度行うことでより深い気づきに導きたい。授業のふりかえりは、「わかったこと」「わからなかったこと」「新たな疑問と調べてみたいこと」と「最初の考え」「現在の考え」についてふりかえりたい。このふりかえりは子どもの変容をつかむためには必要なものである。授業の成果と課題を探り、次時の学習の構想を行う上でも重要な資料となる。

①一つ目の言葉について考える。

ファールブルの真理を追究しようとする姿勢が表れているエピソードである。この言葉から科学者としての原点を読み取ることができるが、その姿勢は大切だがファールブル以外の科学者に共通していることでもある。自然愛護という価値項目を考えると二つ目のエピソードに重点を於きたい。

②二つ目の言葉について考える。

ファールブルの昆虫に対する愛情ややさしさがにじみ出ているエピソードだが、研究を進めるためには時には昆虫を犠牲にしなくてはならない時も多くある。資料はその点には触れてはいない。そうした心ならずも命を奪わざるを得なかった事例も含めてファールブルの行動からは自然への限りない愛情が読み取れる。こちらのエピソードに重点を置いて取り上げたい。

普段の授業は道徳ノートを使用しているが今回はワークシートにふりかえりを記入し、後で道徳ノートに添付する。

(4) グローバル人材育成の視点について

違う民族で言葉や生活習慣が違っても、真理を追究しようという探究心が大切なことや自然を愛し、動植物をいつくしむ心が美しく思えることは共通の価値であることに気づくことと、過去の偉人の行動について考えることを通して時代を超えた先人との対話を楽しむことをグローバル人材育成の視点としたい。

8. 本時の学習

(1) 本時の目標

アンリ・ファールブルの昆虫への思いについて考えることを通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。【D 自然愛護】

(2) 本時の展開

区分	学習活動と内容 (○教師の発問、・予想される児童の反応)	指導上の留意点・支援と計画 (・留意点、◇教師の支援、■評価)	準備物・資料等
導入 5分	<p>1. アンリ・フェアブルについて知る。</p> <p>○昆虫を研究した人について知っていることを話し合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っている。 ・聞いたことはある。 ・知らない。 <p>○アンリ・フェアブルについてどんなことを学びたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものころの様子をしりたい。 ・がんばったことを知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズで昆虫を紹介し、昆虫を研究した人について知らせる。意思表示3色カードを用いて、自分の考えを全員が表示できるようにする。 ・子どもの興味・関心について大まかな傾向を掴む。 	<p>スライド資料 意思表示三色カード</p>
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">アンリ・フェアブルのこん虫への思いについて考えよう</div> <p>2. 資料を読んで考える。</p> <p>(1) 子どもの頃のフェアブルについて考える。</p> <p>○子どもの頃のフェアブルについて話し合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫が大すきな子ども ・時間を忘れてしまう子ども ・変わった子ども <p>○三色カードで交流しましょう。</p> <p>①どんな子どもにみえますか</p> <p>青：いい子だと思う</p> <p>赤：よくない子だと思う。</p> <p>黄：わからない。迷っている。</p> <p>②普通の子だと思いますか。</p> <p>青：普通の子である。</p> <p>赤：変わった子である。</p> <p>黄：わからない。迷っている。</p> <p>(2) 問を探る。</p> <p>○話し合ひてみたいことを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこがすごいか話し合ひたいな。 ・どうして教科書に紹介されたのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアブルの言葉に着目して考える。 ・個人用ボードで意見を交流する。 ・意思表示三色カードで交流する。 <p>・メインボードに特徴的な意見を貼り、他に同じような意見をまとめて書く。</p> <p>◇自分の意見をうまく表現できない児童には似た思いの意見を選ぶよう支援する。</p>	<p>デジタル教科書 個人用ボード 意思表示三色カード</p>

	<p>・みんなはファーブルのことをどう思っているのかな。</p> <p>(3) ファーブルの探求心について考える。</p> <p>○「ファーブルがたくさんの虫を調べたこと」について話し合いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よほど虫が好きなんだな。 ・子どもの頃と変わっていない。 ・すごいと思う。 <p>(4) ファーブルの昆虫に対する思いについて考える。</p> <p>○「ファーブルがかんさつし終わった虫をにがしてあげたこと」について話し合いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしい。 ・虫や自然を大切にしている。 ・当たり前のことだと思う。 <p>3. ファーブルの生き方や行動から学ぶことについて考える。</p> <p>○ファーブルの考えや行動を自分も取り入れてみたいと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強く思う。 ・思うけど大変でできそうにない。 ・虫が好きではないけど命は大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人用ボードで意見を交流する。 ・メインボードに特徴的な意見を貼り、他に同じような意見をまとめて書く。 <p>◇自分の意見をうまく表現できない児童には似た思いの意見を選ぶよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネームプレートを掲示して自分の立場を確認する。 <p>■アンリ・ファーブルの生き方から自分の生活に生かすことを見つけようとしたか。</p>	<p>ネームプレート</p>
<p>終末 5分</p>	<p>8. 学習を振り返る。</p> <p>○学習をして考えたことを振り返りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点を与える。 <p>■アンリ・ファーブルの昆虫への思いについて考えることを通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てることができたか。</p>	<p>ワークシート</p>

(3) 本時の評価

アンリ・ファーブルの昆虫への思いについて考えることを通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てることができたか。

9. 準備物

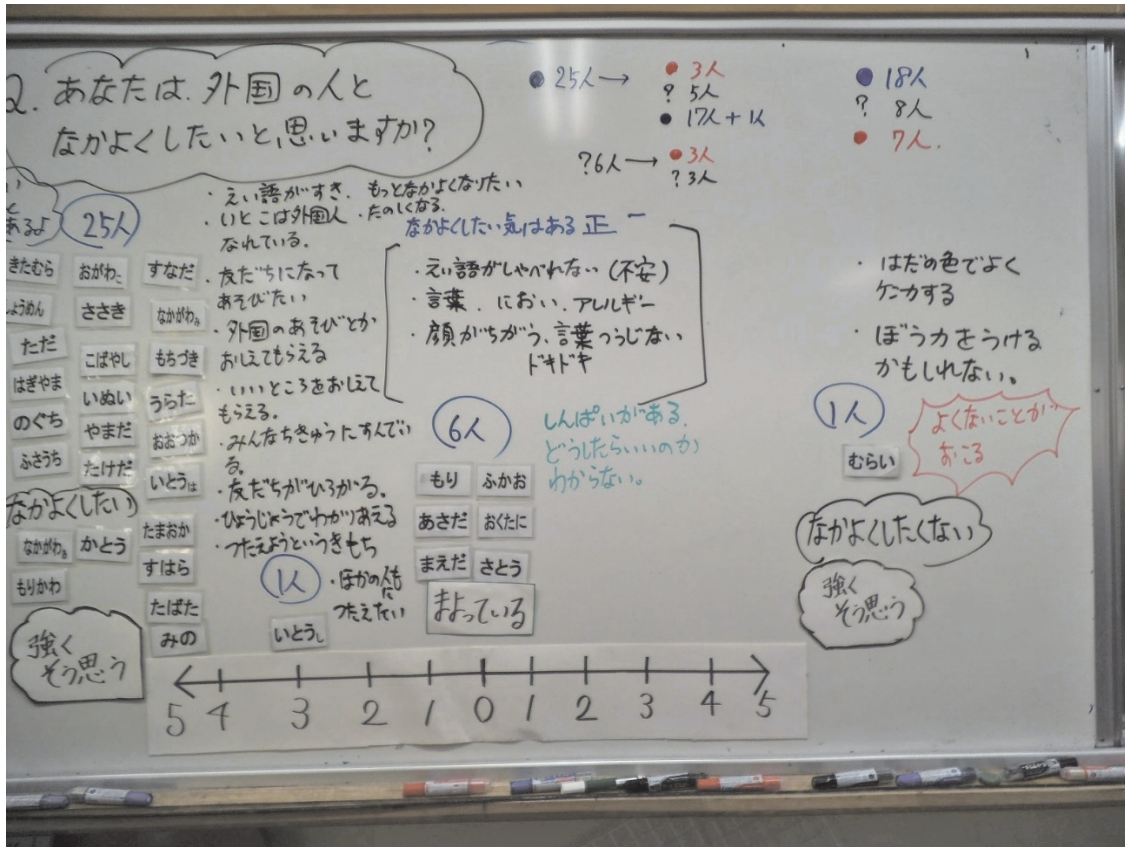
児童：意思表示三色カード、個人用ボード、ネームプレート

教師：スライド資料、デジタル教科書、フラッシュカード、ワークシート、ファーブル昆虫記

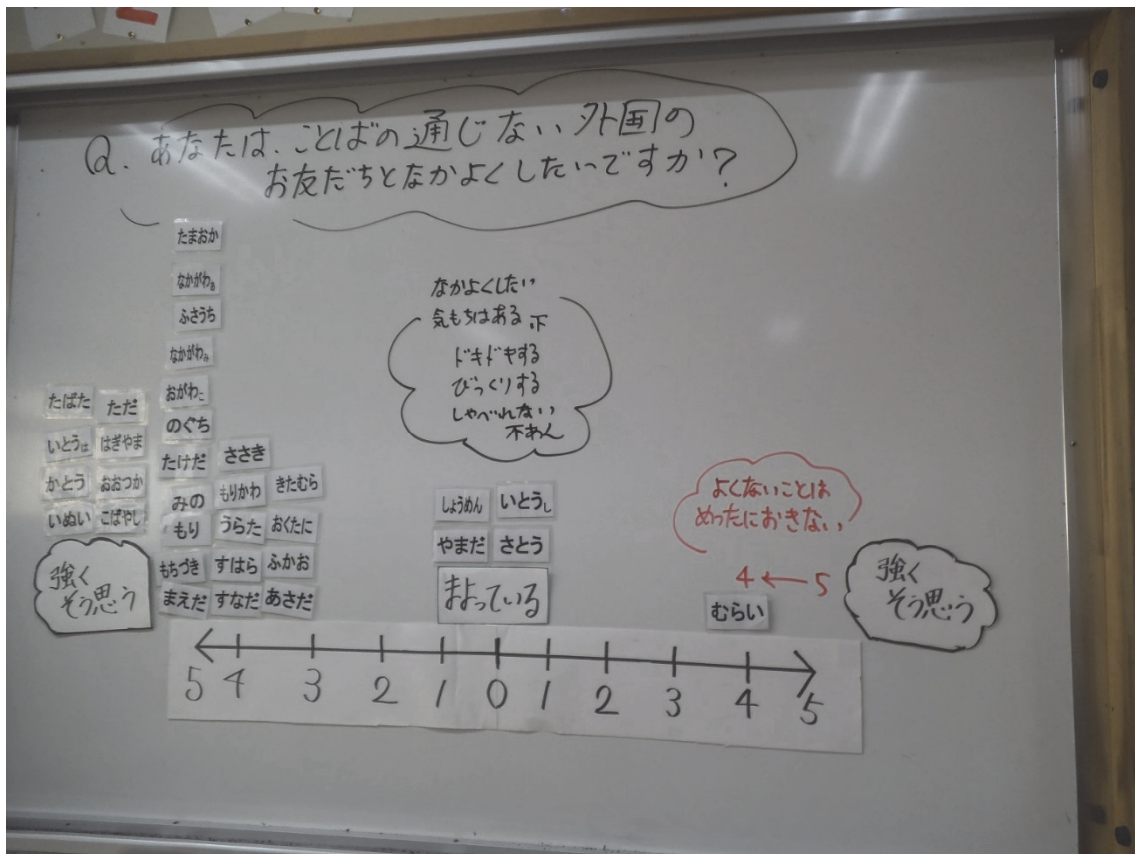
10. 板書計画

<p>フェアブルのこんちゅうへの思いについて考えよう</p> <p>Q フェアブルを知っていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> 何をした人が知っている 知らない 名前は聞いたことがある <p>Q フェアブルはどんな子どもに見えますか</p> <ul style="list-style-type: none"> いい子 よくない子 わからない まよっている <ul style="list-style-type: none"> ふつうの子 かわった子 わからない まよっている 	<p>「小さなものの中に大きなおどろきがかくされている」について考えてみよう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> <p>個人用ホワイトボードを分類して掲示する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>「さあ、どこへでも好きなところへおかえり」について考えよう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>「フェアブルのしたことを自分もしようと思えますか」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • ネームプレートを掲示する <p>左側 真ん中 右側</p> <p>そう思う そう思わない</p> <p>左側が肯定的な立場 右側が否定的な立場 真ん中は迷っている、どちらともいえない</p>
--	---	--

* ホワイトボードは可変式になっており学習の後半はネームプレートが真ん中に来るように動かす。



「タヒチからのともだち：価値判断と意思決定」



「ハンナのなみだ：価値判断と意思決定」

「ファール考えや行動に学ぼう」

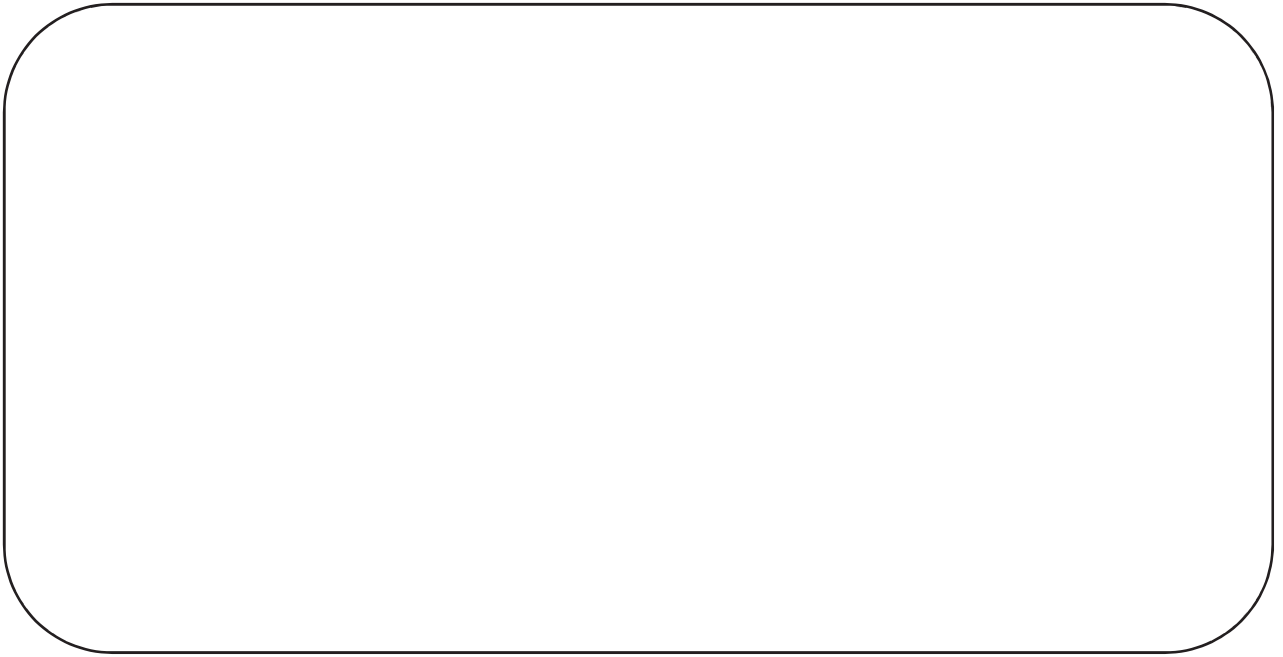
2ねん2くみ なまえ ()

Q1 「ファールの考え方や行動でとり入れたいことはありますか。」

Q2 今日のじゅぎょうでわかったことを書こう。

Q3 今日のじゅぎょうで考えたことを書こう。

Q④ 今日のじゅぎょうのかんそうを書こう。



11. スライド資料
別途PDF